

JAB MS202:2018 第8版 D1 へのパブリックコメント及び処置

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	MS 技術委員会処置 (凡例 ○：採用、△：修正等、 ×：不採用)
1	JICQA	付属書 A A2.		T	<p>2017年10月に開催されました IAF 会議の食品 WG において、JACB からのディスカッションペーパーに対して、下記の通り検討されました。</p> <p>検討の際に、ディスカッションペーパーの課題について、運用面に対応している AB が既にあること及び課題として捉え、MD16 改訂へのインプットとして、検討することが決定したこともあり、組織への負担を鑑みて、右記の通り追加することを提案します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>JACB より添付の通り 2 つのディスカッションペーパーを提出しました。</p> <p>これに対して、以下の検討結果でした (JACB 参加者報告)、</p> <p>①MD16 7.5.6.5 に対するディスカッションペーパー</p> <p>7.5.6.5 (同一組織での重複立会い) については、食品 WG に参加した AB メンバーはいずれも、現行すでに考慮しており、立会い件数を減らす対応をとっているとのコンセンサスは確認できました。また、WG が実施した MD16 に関するアンケートでも同様の問題が回答として提出されたそうです。</p>	<p>5)同じクラスター内の認証組織が少ない事により、同一組織が複数回立ち会うことのないよう考慮する。</p> <p>6)FSSC 22000 の場合は、ISO 22000 を包含しているため、ISO 22000 の立合い件数に含めることができる</p>	<p>×</p> <p>ご提示の IAF 会議でのディスカッションペーパーにつきましては、コメントに記載されておりますとおり、今後検討することとなっておりますので、現時点では不採用といたします。</p>

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	MS 技術委員会処置 (凡例 ○：採用、△：修正等、 ×：不採用)
					<p>7.5.6.5 と 7.5.6.10 の適用につき問題としては認識されたものの、現時点で WG が「減らしてよい」との結論を出すことはできないため、WG 内で小グループを結成、MD16 の改訂に対する推薦事項をとりまとめ、次回のフランクフルトの WG で検討することになりました。</p> <p>②MD16 7.5.6.11 に対するディスカッション ペーパー</p> <p>7.5.6.11 (複数規格の立会い) については、食品 WG に参加した AB メンバーはいずれも、現行すでに対応しているとのコンセンサスは確認されました。こちらも同様に改訂提案対応のグループに申し送られ、MD16 改訂に反映されます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。